

令和3年9月15日

西部農林水産振興センター県央事務所邑智農業部

標 題	和牛調教の基礎を学びました！！～矢上高校「石見和牛プロジェクト」第2弾～
-----	--------------------------------------

(ダイジェスト)

9月10日、県立矢上高校において、「石見和牛プロジェクト」第2回研修会として、和牛調教の基礎研修会を開催しました。

地域を担う畜産人の育成としておよび地域農業の活性化を目的として、平成31年3月に県立矢上高校、JAしまね島根おおち地区本部、邑南町、及び島根県西部農林水産振興センター（川本家畜衛生部、県央事務所邑智農業部）により、「石見和牛プロジェクト」が設立されました。4者が連携し、和牛に関する知識に習得や、第12回全国和牛能力共進会に向けた取り組みを推進していくこととしています。

当日は、同校産業技術科2，3年生20名が研修に参加しました。研修会では県内から4名の調教師を招き、調教の歴史を始め、綱の扱い方や引き運動の方法など調教の為に必要な基本的な技術を学びました。研修の後半では、同校の牛を使用して実際に引き運動の練習をおこなうなど、より実践的な調教を体験しました。生徒たちは慣れない調教に苦戦しながらも、第12回全国和牛能力共進会の出場をめざし、講師の説明を熱心に聞いて積極的に質問をしていました。

本プロジェクトでは、生徒が畜産の専門的な知識を習得すること及び、技術の継承を図ることを目的としており、次回は10月に受精卵移植についての研修を予定しています。

邑智農業部では、今後も引き続き関係機関と連携し、情報提供や技術指導を通じて、本プロジェクトの運営を支援していくこととしています。



綱の使い方を練習する生徒たち



引き運動をおこなう生徒